



# 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

- 1.1. 製品名 : 石原グラスジン M ナトリウム液剤 (ベンタゾン・MCPA ナトリウム塩液剤)  
1.2. 用途 : 除草剤  
1.3. 会社情報 : 会社名 石原産業株式会社  
住所 大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 15 号  
担当部門 三重県四日市市石原町 1 番地  
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部  
電話: 059-345-6205 FAX: 059-345-6206  
1.4. 緊急連絡先 : 石原産業株式会社四日市工場 有機生産部/バイオサイエンス生産技術グループ  
電話: 059-345-6118 FAX: 059-345-6180  
1.5. 作成日 : 2004 年 5 月 11 日  
改訂日 : 2012 年 6 月 19 日②

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1. GHS 分類

#### 物理化学的危険性:

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境急性有害性	区分2
水生環境慢性有害性	区分3
オゾン層有害性	分類できない

## 2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: **警告**

危険有害性情報:	H302	飲み込むと有害
	H319	強い眼刺激
	H401	水生生物に毒性
	H412	長期的影響により水生生物に有害

注意書き:

### 【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. 暴露防止及び保管措置」を参照。

- P264 取扱い後、手や眼をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- P273 環境への放出を避けること。

### 【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

- P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- P330 口をすすぐこと。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

### 【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

### 【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

- P501 内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3. その他の危険有害性: 特になし

## 3. 組成及び成分情報

3.1. 単一製品・混合物の区分: 混合物

## 3.2. 成分

一般名	ベンタゾン Na	MCPソーダ塩	水等
化学名	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-(4)-2,2-ジオキソド=ナトリウム塩	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸ナトリウム	その他
構造式			—
含有率	33.0%	6.0%	61.0%
官報公示整理番号 化 審 法	農薬取締法に 規制される物質	(3)-924	全成分登録保証
官報公示整理番号 安 衛 法	8-(7)-863	4-(4)-210	全成分登録保証
CAS No.	50723-80-3	3653-48-3	ノウハウのため非公開

## 4. 応急措置

### 4.1. 応急措置の記載

- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗浄を続ける。  
医師の手当、診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を速やかに洗浄する。  
医師の手当、診断を受ける。
- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
医師の手当、診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。  
患者に意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせてもならない。  
医師の手当、診断を受ける。

4.2. 最も重要な兆候及び症状 : データなし

4.3. 医師に対する特別な注意事項 : データなし

## 5. 火災時の措置

- 5.1. 消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス
- 5.2. 特有の危険有害性 : 情報なし。燃焼時、有毒ガス(HCl, NO<sub>x</sub>, SO<sub>x</sub>等)が発生するおそれがある。
- 5.3. 消火方法 : 情報なし。
- 5.4. 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、保護具を着用し、眼・鼻・口を覆う保護具(ホースマスク等)を着用するのが望ましい。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :

作業に際しては、適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入を禁止する。  
適切な防護衣を着けていないときは、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

- 6.2. 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 : 大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。  
危険でなければ漏れを止める。  
可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 7.1. 取扱いの注意 : 取扱い後、手・顔等をよく洗い、うがいをする事。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしてはならない。  
飲み込みを避けること。  
皮膚との接触を避けること。  
眼との接触を避けること。  
ラベルをよく読むこと。  
ラベルの記載内容以外に使用しないこと。  
農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切ること。  
使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理すること。  
有効期限内に使用すること。  
使用済み容器は他の用途には絶対に使用しないこと。  
かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- 7.2. 保管上の注意 :
- 技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。  
直射日光を避け、低温で換気のよい場所で保管すること。
- 保管条件 : 施錠できる場所に保管すること。  
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。  
食品や飲料と区別して保管すること。  
小児の手の届くところに置かないこと。
- 容器包装材料 : 情報なし。

## 8. 暴露及び保護措置

- 8.1. 管理濃度 : 設定されていない
- 8.2. 許容濃度 : 設定されていない
- 8.3. 暴露防止・軽減措置
- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。  
管理濃度・許容濃度以下に保つために、換気装置を設置する。
- 保護具 :
- 呼吸用保護具 : 防塵マスク  
適切な呼吸用保護具を着用する。
- 眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用する。  
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用する。
- 皮膚及び体の保護具 : 適切な顔面用の保護具を着用する。  
適切な保護衣を着用する。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。  
取扱い後はよく手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

9.1. 外 観 等	: 赤色澄明液体
9.2. 臭	: 僅かに特異な臭い
9.3. pH	: 9.0
9.4. 融 点	: データなし
9.5. 沸 点	: データなし
9.6. 引 火 点	: なし(引火せず)
9.7. 可 燃 性	: データなし
9.8. 自然発火性・水反応性	: なし
9.9. 自己反応性・爆発性	: なし
9.10. 蒸 気 圧	: データなし
9.11. 蒸 気 密 度	: データなし
9.12. 比 重	: 1.17 g/cm <sup>3</sup>
9.13. 溶 解 度	: データなし
9.14. n-オクタノール・水分配係数	: データなし
9.15. 分解 温度	: データなし
9.16. 粘 度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

10.1. 反 応 性	: 法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。
10.2. 安 定 性	: 法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。
10.3. 避けるべき条件	: データなし
10.4. 混触危険物質	: データなし
10.5. 危険有害な分解性生物	: データなし。加熱や燃焼により分解し、有害ガス(HCl, NO <sub>x</sub> , SO <sub>x</sub> 等)を発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

11.1. 急 性 毒 性	: 経口 LD <sub>50</sub> 1932mg/kg (ラット♂), 1913mg/kg (ラット♀) 経皮 LD <sub>50</sub> >2000mg/kg (ラット♂, ♀) 吸入 データなし
11.2. 皮 膚 刺 激 性	: 軽度の刺激性あり
11.3. 眼 刺 激 性	: 中程度の刺激性あり
11.4. 感 作 性	: 皮膚感作性:感作性なし(モルモット) 呼吸器感作性:データなし
11.5. 変 異 原 性	: データなし
11.6. 発 が ん 性	: データなし
11.7. 生 殖 毒 性	: データなし
11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
11.10. 吸引性呼吸器有害性	: データなし

## 12. 環境影響情報

12.1. 生 態 毒 性	: 水生環境急性有害性	コイ	LC <sub>50</sub>	>1000mg/L(96 時間)
		オオミジンコ	EC <sub>50</sub>	>1000mg/L(48 時間)
		藻類	ErC <sub>50</sub>	2.5mg/L(72 時間)
	水生環境慢性有害性	区分 3(本混合物の成分 61%については水生環境有害性が不明)		

12.2. 残留性・分解性	:	データなし
12.3. 生態蓄積性	:	データなし
12.4. 土壤中の移動性	:	データなし

---

13. 廃棄上の注意		
13.1 内容物の廃棄	:	<p>使用残農薬及び空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。</p> <p>市町村が回収処分をしているところでは、定められた方法に従う。</p> <p>使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところでは、当該システムにより処分する。</p> <p>使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は、農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理する。</p>
13.2 容器の廃棄	:	空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

---

14. 輸送上の注意		
14.1. 国際規制		
国連番号	:	該当しない
国連分類	:	—
包装等級	:	—
品名	:	—
航空規制情報	:	該当しない
海上規制情報	:	該当しない
海洋汚染物質	:	該当しない
14.2. 国内規制		
陸上規制情報	:	該当しない
航空規制情報	:	該当しない
海上規制情報	:	該当しない
14.3. 特別の安全対策	:	<p>輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等が無いことを確認する。</p> <p>転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p>

---

15. 適用法令		
農薬取締法	:	農薬登録番号 第 17327 号
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
消防法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	第 57 条の 2(通知対象物質) 該当しない
化審法	:	該当しない
化管法	:	第 1 種指定化学物質            該当しない 第 2 種指定化学物質            該当しない
		<p>* MCP ソーダ塩は PRTR 法の指定化学物質に該当しませんが、MCP 酸は第一種指定化学物質(第 130 号)に該当します。本製品は MCP 酸に換算すると含有量 5.4%となります。</p>

---

## 16. その他の情報

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス株の全国の支店のうち、農家の皆様の最寄りの事業地にかかるようになっています。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499(情報料無料)

365日 24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365日 9~21時対応

中毒110番 医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923(1件 2000円)

365日 24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件 2000円)

365日 9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2000円を徴収します。

## 記載内容の取扱い

本MSDSの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。